

平成29年度 横浜市岩間市民プラザ

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 市民への文化芸術の観賞、創作活動の機会の提供をします。	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会、きっかけをつくります。	●「午前の音楽会」事業 □述べ入場者数/開催回数	900名/6回	942名 B		【成果】 ・ニーズの高い継続事業に加えて、新たな地域のニーズの取り込みや顧客開拓を狙ったアマチュア落語家をメインとした市民落語会「岩間寄席」を開催しました。結果、大変好評で定番事業に育てていくための下地を作ることができました。 ・同時に「岩間落語塾」を開始。「岩間落語塾」で落語を学び、「岩間寄席」で成果を発表するというサイクルをうまく軌道に乗せることができました。これらの事業を継続し、楽しみの提供だけでなく、地域の人材育成にもつなげて行きます。 ・他にも当期は、楽器の体験ワークショップ(二胡・琴)も開始し、観賞型以外の事業を広げています。 ・ウェブ関係の事業は、機材やセキュリティの問題も考えて、当初設定していたPC使用のプログラミングではなく、スマートフォンを用いた講座を行いました。  【課題】 若年層、特に小学生の参加を狙って、学割設定のあるワークショップ(琴)を週末に設定してみましたが、小学生の参加は1名にとどまりました。若年層の取組には、一層の工夫が必要です。	【評価できる点】 ・「岩間シネクラブ」や「朗読と音の調べ」など、施設利用者の年齢層や嗜好を踏まえた、岩間市民プラザの特徴的かつ個性的な事業が開催されています。概ね目標を達成しており、事業継続の成果が出ているものと評価します。 ・落語塾については、愛好家の学びと発表の場となるだけでなく、専門家との交流の場としても有意義な場と考えます。今後の事業の成長に期待します。  【改善が必要と考えられる点】 ・目標を下回っている企画については、事業の収支を見極めながら、必要に応じて取捨選択を行うことも検討してください。
		●「岩間シネクラブ 思い出名画館」事業 □述べ入場者数/開催回数	720名/6回	761名 B	洋画3回、邦画3回実施		
		●「シネクラブ特別編・サイレントシネマ」 □入場者数	150名	108名 C	1/28「吸血鬼ノスフェラトゥ」他上映 弁士は坂本頼光		
		●「朗読と音の調べ」 ■文学作品朗読とオリジナル楽曲のコラボ □述べ入場者数/開催回数	実施 270名/2回	実施 236名 C	5/27生誕100年 大佛次郎作品の朗読 2公演		
		○「邦楽いろはにほ」 ■委嘱作初演曲を含むプログラム構成の充実 □述べ入場者数/開催回数	実施 250名/2回	実施 314名 A	7月、1月実施		
		●「シルクロードの旋律を奏でる」 □述べ入場者数/開催回数	300名/2回	326名 B	7月、11月 二胡コンサートを実施		
		●「プラザDE体験講座」 カメラ講座、二胡教室 □参加者数	各回12名	カメラ講座: のべ94名/12回(7.8名/回) 二胡体験教室のべ27名/2回(13.5名/回) C			
		「歌助師匠の岩間落語塾」 (岩間寄席関連講座) □参加者数	各回5名	各回5名 B	岩間寄席関連の落語講座 当期より実施		
		(2館連携) 「久しぶりに弾いてみませんか～琴～」 「ジュニア琴スクール」 □参加者数	両方で6名	各回5名 C	2館連携事業 12～3月(全10回)の琴講座		
		スタジオAピアノ活用プラン 「いわまでGびあの」(12～1月で10枠、3月に4枠設定) □参加者数	のべ6名	のべ7名 A	新規事業 冬・春休みにあわせて実施したスタジオグラインドピアノ体験プラン		
③市民プラザでの芸術体験を通じて、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業を実施します。	●保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート □入場者数	150名	68名 C	2/10 当期はリコーダーによる古楽の演奏			
	●横浜トリエンナーレ事業への参加(WS) □実施回数	20名/1回	30名/1回 A	パトリエンナーレのイベントに協力(あみあみWS)			
2 次世代育成に取組みます。	①次世代を担う子どもたちが、文化芸術を通じて、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業を実施します。	○「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」 □述べ参加者数/開催回数	350名/2回	1639名/4回 A	NPO法人横浜こどものひろば主催事業(岩間協力)	【成果】 ・NPO法人の活動を支援するとともにNPO法人のノウハウを活用することで、多くの青少年に文化活動の場を提供できました。 ・地域の商店会や企業と連携し、街のにぎわい作りに貢献するとともに、地域の親子や働く方々に音楽の楽しさや憩いのひと時を提供することができました。 ・地域の小学校へアウトリーチで普段学校では体験することができない、文化芸術を届けることができました。体験型ワークショップでは、参加者が気持ちをひとつにして活動している姿が印象的でした。  【課題】 ・一部の事業において広報・周知が不十分で、参加者数が目標を下回りました。 ・日本舞踊のWSでは参加者が募集人員を大幅に上回った場合の対応を検討する必要があります。	【評価できる点】 ・幅広い世代の子どもが文化芸術に触れる機会を、音楽や舞踊、読書など様々な形で提供しています。 ・地域のNPOや教室等の発表や活動の場として活用されていることから、地域にとって必要な施設であることが感じられ、また、地域での存在感が高まる取組であると評価します。 ・日本舞踊のワークショップについては、日本文化の良さを実感できる企画として評価するとともに、今後の継続を期待します。  【改善が必要と考えられる点】 ・文化芸術活動のすそ野を広げるためには、若い層の参加者がその魅力に触れる機会を増やし、次世代に広げていくことが重要と考えますので、引き続き、その観点を重視した取組を期待します。 ・地域団体との連携を図りながらも、プラザ独自の取組が充実していくことを期待します。
		○音楽の贈り物@ほどがや □述べ入場者数/開催回数	450名/3回	540名/3回 A	年3回実施 うち1回は、ほどがや宿場祭りに参加(10/9)地元のバイオリン教室の子どもたちによる発表会を行った。		
		●「午前の音楽会」事業	(I-1再掲)	一時保育ありの告知等、子どもたちが参加しやすい事業を実施			
		●子どものための夏休み日本舞踊WS「めざせ☆やまとなでしこ&にっぽんだんじ」 □参加者数	30名/1回	26名/1回 C	借恵いわまワークスの協力を得て、プラザ3F和室で行うWS		
		●「ぼくのわたしのお絵かきあそび」 □述べ参加者数/開催回数	300名/2回	389名/2回 A			
		●「ギャラリー絵本よみかかせ」 □述べ参加者数/開催回数	50名/1回	48名/1回 B			
④横浜市芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用により、子どもたちが文化芸術を体験する機会を増やします。	●横浜市芸術文化教室プラットフォーム学校プログラム 実施校数	5校	5校 B				

平成29年度 横浜市岩間市民プラザ

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価			
3 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成をします。	16	①地域で文化活動を担う人材を育成するための事業を実施します。	●WEB制作講座（初級編） □述べ参加者数/開催回数	20名/2回	—	—	一部内容を映像制作講座において行った。	<b>【成果】</b> ・映像制作講座ではtvkcomsのノウハウを活かし、質の高い講座を実施することができました。 ・「地域理解講座&体験ツアー」では横浜開港記念館と地元歴史愛好家を講師として招き、保土ヶ谷宿の歴史講座やジオラマや絵画等による資料の展示等を実施しました。また、体験ツアーでは市内歴史巡りウォークを展開することで、地元への愛着を醸成する機会を提供しました。 ・保土ヶ谷区の地域資源である天徳院や保土ヶ谷カトリック教会等でその資源を活かした文化活動を行い、区民が地域の誇りを感じ取っていただく機会を提供しました。 ・保土ヶ谷区文化祭では保土ヶ谷区と協働し、多くの区民に芸術文化に触れていただく機会を提供しました。また、地域の文化活動を担う市民の支援を行いました。  <b>【課題】</b> ・保土ヶ谷区はもともと区民によるさまざまな文化活動が発達であり、岩間市民プラザがどのように関わっていくか、地域の方々と交流を深めていく中で模索して行きたい。	
	17		●映像制作講座（初級基礎編） □述べ参加者数/開催回数	20名/2回	16名	C			
	18		●「地域理解講座&体験ツアー」 □述べ参加者数/開催回数	40名2回	286名/展示1回 52名/2回	A	ガイドとともに地域を歩く「歴史ウォーク」を新規で行った		
	19	②市民が主体となって行う文化芸術活動を支援します。	●岩間シネクラブサロン交流会 □述べ参加者数/開催回数	30名/2回	19名/2回	C			
	20		○保土ヶ谷区民文化祭 美術展/写真展 □来場者数	500名	303名	C			
	21		○保土ヶ谷区民文化祭 茶・華道会いけばな展 □来場者数	400名	670名	A			
	22		○保土ヶ谷区民文化祭 高齢者作品展 □来場者数	300名	604名	A			
	23	③市民団体とともに行う事業を通じて、施設と市民との良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識されることを目指します。	●「東海道保土ヶ谷宿魅力発見シリーズ」 □参加者数	100名		81名	C		
4 文化芸術を通じ地域のネットワーク形成へ寄与し、文化的コモンズ形成の牽引をします。	新4	①各市民プラザをはじめ近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、関係性を強化します。	○音楽の贈り物@ほ도가や	(I-2再掲)			近隣商業施設や地元団体との協力で実施	<b>【成果】</b> ・「ほ도가や人・まち・文化振興会」、「保土ヶ谷宿場祭り」等の会合に積極的に参加するとともにYBPとの連携を密に行い関係性を強化しました。「保土ヶ谷宿場祭り」では音楽公演を実施し、より主体的な役割を果たしました。 ・借恵あきまつり、岩間町の秋祭り、ほ도가や国際フェスタの開催に向けて積極的に情報交換や場所の提供等を実施しました。 ・横浜トリエンナーレではワークショップの会場として場所を提供し、地域の方々に横浜トリエンナーレを紹介するとともに、トリエンナーレへの参加を促しました。  <b>【課題】</b> ・今は保土ヶ谷駅や天王町駅近辺の企業や団体、商店会との交流が主ですが、保土ヶ谷区は地理的に広く、さまざまな分野のコミュニティ等があるので、今後は漸次広がりのある展開も視野におきたい。	
		②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等を実施します。	●東海道保土ヶ谷区宿魅力発見シリーズ 横浜市民落語会「岩間寄席」	(I-3再掲)	100名	168名	A		新規事業
	24	③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役を担います。	○借恵あきまつり □来場者数	500名	500名	B			
	新1		●横浜トリエンナーレ事業への参加(WS)	(I-1再掲)					9/21あみあみws開催 借恵ワークス通所者参加
				横浜市への協力					会場協力・減免協力等
5 地域コミュニティの形成、社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進をします。	25	①文化芸術・社会福祉・国際交流の三分野にわたる複合施設としての特色を活かし、「借恵いわまワークス」「NPO法人保土ヶ谷国際交流の会」の各団体と協力・連携しながら、取り組みます	○岩間シネクラブでの障がい者就労支援喫茶店「いろえんびつ」との連携(チケット購入者の割引特典設定)	実施			岩間シネクラブのチケットに「喫茶いろえんびつ」割引特典を設定	<b>【成果】</b> ・複合施設である強みを活かし、お互いの得意な分野を受け持ちながら協働することができました。 ・参加者が皆生き生きと活動し、交流を深めることができました。 ・福祉施設等が身近にあり、職員のソーシャルインクルージョンの意識付けが自然な形でできることは強みです。 ・横浜トリエンナーレのワークショップでは、借恵いわまワークスの通所者も参加していただき、横浜市の重要な施策を紹介できました。  <b>【課題】</b> ・質・量ともさらなる協働が図られるべきですが、福祉施設側の専門性が高いため、今後もコミュニケーションを密にしながら検討を重ねていきたい。	
	26		○いわまワークス通所者作品展 □来場者数	100名	234名	A			
	27		③フェローアートギャラリー □来場者数	300名	247名	C			
			○借恵あきまつり	(I-4再掲)					会場協力(予約と減免)
			●「ギャラリー絵本よみかかせ」	(I-2再掲)					借恵ワークス通所者参加
			●「午前の音楽会」事業	(I-1再掲)					広報協力等
	28		○近隣保育園発表会 □述べ参加者数/開催回数	300名/2回	1483名/6回	A			
			●横浜市芸術文化教室プラットフォーム学校プログラム	(I-2再掲)					地元の活動団体の協力
	29		○ほ도가や国際交流フェスタ □参加者数	300名	326名	B			11/19 会場協力と当日の運営協力 プラザ全館を使ったイベント
	30		○異文化理解講座・日本語講座 □述べ参加者数	120名/36回	780名/47回	A			
31		○NPO保土ヶ谷国際交流の会と、事業案内・広報の連携	実施				相互配架等広報の協力他		

平成29年度 横浜市岩間市民プラザ

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況			評価
6 情報提供及び広報・プロモーション活動を行います。	32	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、情報提供・広報プロモーション力を強化します	●テレビ神奈川情報番組、スポットCM □掲載回数	月1回	月1回実施		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・tvkの広報枠を使った事業の宣伝やヨコハマメディアアドの専門性と機動力を活かした積極的な広報を行いました。</li> <li>・新たに地域をカバーするケーブルテレビに情報提供を行いました。</li> <li>・事業内容、ターゲットを鑑み、スポットに広報展開を行い情報の拡散に努めました。</li> <li>・玄関入口のポスターケースにカットインシートで彩色を施したり、フラッグを設置するなど目立つ工夫をし、プラザの知名度向上を図りました。尚、カットインシートの制作は借恵いわまワークスに発注しました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館して27年になりますが、岩間市民プラザの一般的な認知度は充分とは言えず、認知度向上の取組みが必要です。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理が持つ地域性と専門性を活かした広報活動がなされています。</li> <li>・テレビや新聞、地域情報誌、回覧板など多様な広報媒体を活用するなど工夫が見られます。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館して27年と長い施設ではありますが、指定管理者としては2年目と歩みだしたばかりであり、岩間市民プラザとしてのブランドの確立を期待しています。広報物については、Webやチラシ等のデザインに統一性をもたせトーンも明るくするなど工夫をし、情報の浸透を図ってください。</li> </ul>
	33	②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トーン&マナーの統一を図り、よりわかり易く利用しやすい発信をします。	●WEBページのコンテンツの充実 よりわかりやすく、読みやすい画面構成作り に努めます。	実施	実施		
	34	③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションを行います。	●クロスメディア広報 □tvk、神奈川新聞、タウンニュース、ケーブルテレビと連携した広報を展開	随時実施	実施		
	35		●プラザ催物案内 □発行回数/配布箇所数	12回/150箇所	150箇所	B	
	36		岩間町自治会の広報板・回覧板を利用、広報よこはま保土ヶ谷区版に告知掲載	実施	実施		
	37		相模鉄道発行の情報誌等を活用しての沿線利用者への広報アプローチをする。「相鉄瓦版」「駅からさんぽ」への掲載及び、相鉄天王町駅PRボックスにチラシを設置	実施	実施		
	38	④地域の人材を育成し市全体のプラットフォームを設立	■周辺地域に集う方々の顔や地域の生きた情報を集めて発信するまちづくり情報サイトの機能を市民プラザホームページ内に構築します。	実施	実施		
		●WEB制作講座（初級編） □述べ参加者数/開催回数	(I-3再掲)	実施			
		●映像制作講座（初級基礎編） □述べ参加者数/開催回数	(I-3再掲)	実施			

平成29年度 横浜市岩間市民プラザ

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価		
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 市民の文化芸術活動の発表・創作活動のための施設を提供します。	1	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービス提供を行います。	■交替勤務による伝達不足がないように、引継ぎノートを常備	実施	実施	【成果】 ・利用者が気持ち良くできるよう高いホスピタリティを提供しました。 ・利用率はホールがわずかに目標に達しなかったものの、昨年比+7%、ギャラリーは目標達成でした。 ・来館者数は前年度より 8600人ほど大幅に増加しています。 ・「いわまでグランドピアノ」は空き施設の活用策としても、新規利用者の開拓としても有効な企画だと考えています。  【課題】 ・リハーサル室やレクチャールームの利用率の向上が課題です。 ・スタジオ等、若い世代への利用の促進が課題です。	【評価できる点】 ・施設利用率は平成28年度と比較して概ね全ての施設で向上しています。利用者満足度を高めるために、職員間の情報共有や丁寧な問合せ・見学対応を実施した成果が感じ取れます。 ・「いわまでグランドピアノ」は空き施設の活用策としても、新規利用者の開拓としても有効な企画だと考えています。  【改善が必要と考えられる点】 ・施設利用率は向上しており、目標の到達に近づいていますので、一層のPR活動の実施を期待します。	
	2	②利用率が高まる工夫を行います。	■e-mailによる問合せ等にも迅速に対応、施設見学の希望を随時受付	実施	実施			
	3		■ギャラリー利用推進のため、「U-25割引制度」を導入。	実施	実施			
	4		■営業担当者によるPR活動	実施	実施			
	5		□目標利用率(%)					
	6		ホール(日)	90	89			B
	7	ギャラリー(日)	48	51	B			
8	リハーサル室(コマ)	74	63	C				
9	レクチャールーム(コマ)	62	58	B				
10	スタジオ(コマA~D平均)	83	81	B				
新3	利用推進、親しみやすい施設、利用しやすい施設をめざす							
6	③日頃から安全第一に考えて、運営業務を遂行できるよう、防災訓練でスタッフの危機管理意識を高めます。	■防災訓練の実施	2回	2回	B			
新2		プラザ連絡会(プラザ、ワークス、国際交流、三師会)を発足、連絡会開催						
2 利用者ニーズの把握、サービスの向上に努めます。	7	①来館者・利用者からのご意見・ご要望を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげます。	■要望苦情は全スタッフで共有	実施	実施	【成果】 ・自主事業等でのアンケート回収率が高く、概ね高い評価をいただいています。 ・トイレ洋式化工事は、アンケート結果等を踏まえて横浜市へ改修のお願いをした結果が反映されたものと考えております。  【課題】 ・ユーストリームの実現が課題です。	【評価できる点】 ・施設運営にあたって、利用者の意見に耳を傾けることは姿勢は重要であり、様々な形で意見を収集する機会が作られています。また、受付業務の業務改善などに役立てられており、有効に活用されています。  【改善が必要と考えられる点】 ・利用者満足度の向上を図ることは、市民利用施設として普遍的に取り組むべき課題であり、引き続きアンケートや研修等を実施し、運営の改善に役立ててください。	
	8	②対象に応じた情報収集ツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づくサービスの向上につとめます。	■緊急度・重要度から優先順位を決め順次取り組む。	実施	実施			
	9		■対応後はより良い改善に向け検証を実施	実施	実施			
	10		■クレーム対応研修	1回	1回			B
	11		■ご意見箱・受付対応・アンケートなどを通じてニーズを把握	実施	実施			
12	③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組をします	■動画を作成して発信します ■受付カウンターにモニターを設置、来館者へのイベント等の発信をします ■ユーストリームの実施に向けてのインフラ調査を行います	実施	実施				
3 組織的な施設運営を行います。	13	①適切な運営組織体制と人材の配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付パートスタッフ5)	□適所に必要な人材を配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付担当5)	実施	実施	【成果】 ・指定管理2年目となり徐々にではあるが、職員も運営ノウハウを身に付けてきています。安定した運営ができています。  【課題】 ・利用許可書の誤交付の事故を起こしてしまいました。個人情報管理の意識をもっと高める必要があります。	【評価できる点】 ・適切に職員が配置されており、職員間の情報共有や研修の場が設けられています。  【改善が必要と考えられる点】 ・職員が職務上遵守すべきルール等については、朝礼や職員会議等の場において、随時確認するように努めてください。	
	14	②組織内の情報共有及び主要人材の能力確保を行います	□朝礼	1回/日	実施			B
	15		□職員会議	1回/月	実施			B
	16		□運営会議	4回/年	実施			B
	17		□企画検討会 随時	随時実施	実施			
18		□職員研修	2回/年	2回	B			
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取り組みをします。	19	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組を実施します	■ネット上で申込み時の個人情報を安全に取り扱う仕組みを導入する	実施	実施	【成果】 ・個人情報研修については、「チェックシート」を使った自己点検方式で実施し、日常的な事務作業の振り返りを行うことができました。 ・人権ライブラリーから研修ビデオを借り受けて、人権研修を実施し心のバリアフリーやソーシャルインクルージョンを学びました。 ・デマンド監視装置の警告があった場合には、借恵いわまワークスや国際交流ラウンジに協力を仰ぎ、少しでも使用電力を下げる努力をしました。  【課題】 ・個人情報保護に関する意識のさらなる徹底が必要です。 ・夏の暑い時期の午前中にホールが稼働し、借恵いわまワークスのパン焼き機が稼働している場合の対応が課題で	【評価できる点】 ・ワークショップの開催にあたって、ネット申込を導入するなど、個人情報の重要性を理解した取組が見られます。  【改善が必要と考えられる点】 ・個人情報の保護と適正な管理は、施設が信頼を獲得するための基礎的な事項です。職員が職務上遵守すべきルール等については、朝礼や職員会議等の場において、随時確認するように努めてください。	
	20		■個人情報管理・パスワード管理の徹底	実施	実施			
	21		■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に添った対応	実施	実施			
	22		■人権に配慮した運営・接遇	実施	実施			
	23		■文化施設としての快適性を確保しつつ節電	実施	実施			
24		■中小企業への優先発注	実施	実施				

平成29年度 横浜市岩間市民プラザ

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況			評価	
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 施設及び設備の維持保全、及び管理をします。	1	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施	日常点検時に発見した不具合を適切に補修、安全性を確保	実施	実施		<b>【成果】</b> ・日常点検・定期点検で発見した不具合に対応し、安全・安心な施設提供を行いました。  <b>【課題】</b> ・施設の老朽化が進み、故障・破損等が多く発生しています。今後見込まれる修繕に向けた予算の確保等が課題となっています。	<b>【評価できる点】</b> ・日常点検や定期点検を確実に実施し、カーペット交換等は職員自らが交換作業を行い、経費の節減とともに、施設環境の向上に取り組んでいます。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・施設の長寿命化にあたり、改修等が必要な事項については、横浜市と積極的に情報共有を行ってください。
	2		消防設備及び法定点検を計画通り実施。不具合は確実に修繕	実施	実施			
	3	②保守点検・備品管理、環境維持を実施します。	□一定の期間が必要な修繕等に対応するため、連続する作業可能日を設ける	随時	実施			
	4		■業務の基準に則り物品管理	実施	実施			
	5		■利用実態に即した満足度を向上させる清掃	実施	実施			
	6		■年間排出計画を定めて廃棄物の発生抑制	実施	実施			
	7		□月1～2回の施設点検・職員研修	月1～2回	月1～2回	B		
	8		□エレベーター・カーフト点検	月1回	月1回	B		
2 小破修繕を着実に実行します。	9	①小破修繕の取組をします	□巡回点検回数	1回/日	1回/日	B	<b>【成果】</b> ・譜面台やアンプ等の故障については、スタッフの専門性を活かし、できるだけ自前で修繕しました。 ・スタジオの床の張替等を職員自身で行うなど、利用者心地用環境を提供するための取組を実施しました。  <b>【課題】</b> ・施設の老朽化が進み、故障・破損等が多く発生しています。今後見込まれる修繕に向けた予算の確保等が課題となっています。	<b>【評価できる点】</b> ・スタジオにおいては利用毎に点検を行うなど、日常的な巡回点検を確実に実施し、必要に応じて自己修繕を実施されています。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・特筆すべき事項なし。
	10		■優先順位を付け、設置者と協議の上修繕を実施	実施	実施			
	11		■更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	実施			
3 事故予防及び緊急時対応を実施します。	12	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施を行います。	■消防設備・避難経路の案内図を掲示し来館者へ周知	実施	実施		<b>【成果】</b> ・高齢者のご利用が多いので安全のため階段のステップ部分に滑り止めを施工しました。  <b>【課題】</b> ・特にありません。	<b>【評価できる点】</b> ・利用者の視点に立った、安全対策がなされています。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・特筆すべき事項なし。
	13		■施設設備不具合には迅速に対応し故障・停止を未然に防止	実施	実施			
	14		■緊急時連絡網の作成、横浜市との連携の徹底	実施	実施			
	15		■館内巡回により日常の衛生管理を徹底	実施	実施			
4 防災に取り組みます。	16	①日常の取組、危機管理マニュアルを整備、防火・防災に取り組み、災害備蓄等を実施します。	■災害時には「人命尊重」「生命の安全確保」を第一に対応	実施	実施		<b>【成果】</b> ・年2回の防災訓練を着実に実施しました。同じ訓練を職員がそれぞれ立場を変えながら複数回実施し、様々な想定を元、身体を動かせるように訓練しました。 ・大雨洪水警報時に保土ヶ谷区防災担当の協力要請に応じて、避難住民のために場所を提供しました。  <b>【課題】</b> ・夜少人数体制での地震、火災等への対応が課題となっています。近年、風水害被害が深刻化していることも踏まえ、マニュアルの整備と職員間の情報共有を十分に行ってください。	<b>【評価できる点】</b> ・複合施設として連携した防災訓練が実施されています。また、洪水時の浸水を想定した、防潮版設置訓練も実施されており、施設の周辺環境を理解した取組がなされています。 ・大雨洪水警報時に区役所と連携して、施設を避難場所として提供するなど、柔軟な対応を行いました。
	17		■危機管理マニュアル整備	実施	実施			
	18		■防火・防災管理者、統括防火管理者の選任	実施	実施			
	19		■所轄の消防署と相談した、非常時に成果が行かせる訓練を行う	実施	実施			
	20		■非常用品を常備し、いつでも使用できるように管理	実施	実施			
	21		□防災訓練実施回数	2回/年	2回/年	B		
22		□台風等による増水対策防潮版設置訓練の実施回数	1回以上/年	1回/年	B			
5 その他の管理。	23		■許認可および届出の適切な実施	実施	実施		<b>【成果】</b> ・達成指標に記載した内容は滞りなく実施できました。  <b>【課題】</b> ・特にありません。	<b>【評価できる点】</b> ・計画された取組が確実に実行されています。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・施設の信頼を築くための基礎的な事項ですので、今後も引き続き、確実に取組を進めてください。
	24		■目的外使用許可手続	実施	実施			
	25		■名札の着用	実施	実施			
	26		■人権の尊重、人権講習会等に参加	実施	実施			
	27		■騒音・利用者迷惑行為に関する近隣対策の実施	実施	実施			
	28		■書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	実施			
	29		■行政機関が制定する規程等の遵守、法律制定・改正時の対応	実施	実施			
	30		■法律の制定・改正時には、横浜市と協議し対応する	実施	実施			

平成29年度 横浜市岩間市民プラザ

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況			評価	
評価項目		H29年度計画		実施状況			評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造および収支バランスを目指します。	1 適切な収支構造及び収支バランス目指します	■民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施 ■事業収支の精査	実施	実施	チェック		【成果】 ・事業広報に力を入れ、事業収支を+100万円としました。 【課題】 ・管理費・事業費など経費削減に努めたものの、結果的にはマイナスの収支となりました。 また、安定したサービスを提供するために受付スタッフを適切に配置したことで人件費が予算オーバーしました。	【評価できる点】 ・予算額に対して収入額が向上しています。特に、自主事業収支が黒字となっている点を評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・通信運搬費が予算から大きくかい離していますので、適正な執行に努めてください。
	2		実施	実施				
2 指定管理料にのみ依存しない収入構造に取り組めます。	3 ①指定管理料のみに依存しない収入確保に取り組めます。	■利用率向上による収入確保	実施	実施			【成果】 ・ホールの利用率が前年比+7%、ギャラリー+2%、全体の利用率も+2%となり、併せて利用料金収入も70万円の増となりました。 ・商品サンプリングではありませんが、省エネ広報協力費として40万円の収入を得ました。 【課題】 ・助成金の獲得を試みましたが、採用には至らず今後の課題が残りました。	【評価できる点】 ・施設の利用率向上により、利用料金収入が向上しています。 ・営業努力による協賛金や広報請負により、収入を得ている点について評価します。
	4	□目標利用率(再掲)	(Ⅱ-1再掲)	実施				
	5 ②共同事業体の得意分野を活かした営業・広報強化による増収策やコスト削減等、収支構造を再分析し、短・中期的ビジョンを構築します。	■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動の実施	実施	実施				【改善が必要と考えられる点】 ・助成金の獲得については、引き続き取組をお願いします。
	6	■商品サンプリングの実施	実施	実施				
3 経費削減及び効率的運営努力をします。	7 コスト削減の徹底を実施します	■空調や照明を節減し、光熱水費削減	実施	実施			【成果】 ・照明や冷暖房のこまめな操作により光熱費の削減を図りました。 ・事業チラシのデザインは全て職員が作成しています。 ・印刷も費用を抑える発注の工夫を行っています。	【評価できる点】 ・契約電力の単価減により、電気料金が抑制されています。
	8	■職員全員が削減意識を持ち事務事業費の経費削減	実施	実施			【改善が必要と考えられる点】 ・通信運搬費が予算から大きくかい離していますので、適正な執行に努めてください。 【課題】 ・夏季の空調は28℃設定ではありませんが、実際には30℃近くになり、扇風機等で調整はしているものの、今後改善が必要です。	
V PDCAサイクルの確実な運用	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
日報及び月間事業報告書の作成・管理	1	各種日報を作成	実施	実施			【成果】 ・各種報告書は適正に作成・報告しました。	【評価できる点】 ・適正に作成・報告されています。
	2	月報を作成し、モニタリング時に提出	実施	実施				
	3	日報・月報の管理保存	実施	実施			【課題】 ・特にありません。	【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
VI 留意事項	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
	1 ①必要な保険に加入します	保険:損害保険の加入	実施	実施			【成果】 ・施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入しました。 ・研修を行うなど、コンプライアンス遵守に取り組めました。	【評価できる点】 ・適正に執行されていることを確認しました。
	2 ②関係法令を遵守します	法令順守	実施	実施				
	3 ③情報公開に取り組めます	■横浜市「情報公開に関する標準機亭」「横浜市民プラザ情報公開規定」遵守 □横浜市モニタリング	実施	実施				【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
	4 ④市その他関係機関との連絡調整	□プラザ館長会議	1回/月	1回/月	B			
	5	□JV会議	6回/年	実施	B			
	6		4回/年	4回/年	B			

平成29年度 横浜市岩間市民プラザ

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価	
評価項目		H29年度計画		実施状況		評価	
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
市民プラザ2館連携	1 ※市民プラザ2館を指定管理する利点を生かした管理運営の取組 ・施設共同事業の実施による文化活動団体の交流拡大と地域文化の担い手育成 ・安全、安心、快適な施設管理と長寿命化への対応(2施設の建物管理を総合的に行うことで、効率的で迅速な対応を実現)等	・両プラザ連携事業の実施 ・相互の人員協力により、効率的に運営 ・運営ノウハウの共有 ・同規模、同程度の経過年数2館の建物管理を総合的に行うことで、合理的な施設管理を実現	実施	実施	・両プラザ連携企画として「琴ワークショップ」を開催したほか、関内ホールとの3館連携事業「バンドコンテスト」開催準備を行いました。 ・WEB/映像講座は、岩間で初級編、吉野町で中級編を開催しました。 ・事業当日のみならず、受付欠員時の応援を実施しました。 ・同規模・同程度の経過年数2館で設備管理についての問題点を共有し、対応しました。	【成果】 ・両プラザ連携企画事業(琴ワークショップ)では、役割を分担、共同での募集など、両館の強みを生かすことができました。特に岩間市民プラザでは、この事業でネットによる参加者募集を行うことが出来ました。次年度に向けた準備を行い、一層連携を強化します。 ・個人情報点検シートや利用許可書取扱手順書の共通化など、2館でノウハウを共有しました。  【課題】 ・経年劣化が進む施設の管理面で、連携を強化します。	【評価できる点】 ・両プラザにおいて、役割分担や事務手順書の共有化を行うことにより、効率的かつ効果的な業務執行に取り組む姿勢が伺えます。  【改善が必要と考えられる点】 ・引き続き、両プラザの連携により効率的かつ安定的な運営を期待します。

評価項目		H29年度計画		実施状況		評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標			特記事項	自己評価	行政評価
	1					かねてより、地元の名刹や特色ある建物でのイベントをおこなってまいりましたが、当期は、ほどがや宿場祭りで地元のごどもたちによる発表会を行うなど、さらに地元の団体との連携を意識した事業を行うことができました。「岩間寄席」(落語発表会)や、それに関連する「落語講座」、地域の歴史を学ぶ講座などの新規事業を行うにあたって、「宿場」や「歴史」などの地域性・地元色を出せるよう努めました。	・市民プラザの指定管理導入2年目を迎え、運営力の向上が感じられる年でした。 ・事業の面では、これまで地域に親しまれている「午前の音楽会」、「岩間シネクラブ」を継続するとともに、新たに「落語塾」「いわまでグランドびあの」など新たな企画を打ち出し、成果を上げていることを評価します。 ・区や地域団体が主催する活動にも積極的に関わり、地域に必要とされている施設であることも感じ取れます。施設利用率は前年度より向上していますが、近隣エリアで文化活動を行う個人や団体との関係を構築し、プラザの施設利用につなげるなど広がりのある取組を期待します。 ・複合施設という特徴を活かした事業展開を行うだけでなく、防災など地域の安全に寄与する取組を行っている点を高く評価します。 ・今後はさらに施設の現状と課題を分析しながら、一步踏み込んだ取組や、2施設一体公募を行ったメリットを発揮できるよう、検討・取組を進めていくことを期待します。